

事前評価個表

整理番号	22
------	----

地域（地区）名	ひとつせがわ 一ツ瀬川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	宮崎県	対象市町村	さいと 西都市ほか5町1村
事業実施期間	R4年度～R8年度（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県の中央部に位置する一ツ瀬流域の1市5町1村である。本地区の西部は、市房山など1,000m超の山々が九州山地を形成し、東方向に向かって漸次標高を減じながら、宮崎平野に続いている。</p> <p>民有林面積は56千ha、そのうち人工林面積は、24千haで人工林率43%を占めている。樹種別では、スギが人工林面積の75%、齢級別では、Ⅹ～ⅩⅢ齢級が59%を占めており、高齢級の割合が高いことから、主伐後の確実な再造林が必要となっている。</p> <p>また、近年充実した森林資源を背景に、製材工場が大型化するなど木材需要が高まっており伐採量が高止まりで推移している状況となっている。</p> <p>このように本地区が本格的な収穫期に入っていることから、豊かな森林資源を効率的に活用しつつ、確実な再造林を進めることで、「伐って、使って、すぐ植える」資源循環型林業を構築するとともに、「森林の若返り」と齢級構成の平準化を進めていく必要がある。</p> <p>このため、本事業では森林資源の循環利用と水源涵養機能等の森林のもつ役割に応じた適正な森林管理を進め、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るとともに、成熟した森林資源を有効活用し、木材の安定供給体制の確立に資することを踏まえた、植栽等の更新作業や間伐等の保育作業、路網整備等の森林整備を一体的かつ計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,133ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：3,374m 林道開設</p> <p>総事業費：2,862,535千円（税抜き 2,602,305千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 4.22$</p> <p>（総便益（B）＝15,931,891千円、総費用（C）＝3,773,642千円）</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：木材の安定供給体制の確立とともに、森林の循環利用を図り、森林の有する水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の維持増進を目指しており、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：宮崎県

地域(地区)名：ひと せがわ
一ツ瀬川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,202,519	
	流域貯水便益	1,301,684	
	水質浄化便益	5,006,352	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,138,747	
環境保全便益	炭素固定便益	2,397,574	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	2,143	
	木材利用増進便益	7,831	
	木材生産確保・増進便益	1,259,057	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	615,984	
総 便 益 (B)		15,931,891	
総 費 用 (C)		3,773,642	
費用便益比	$B \div C = \frac{15,931,891}{3,773,642} = 4.22$		

森林環境保全整備事業 一ツ瀬川地域 (宮崎県) 概要図

